動要支援者を取り残さない体

豊かなみどりと利便性を兼ね

備えたまちづくりを目指す。

味は。⑥区で初めて介護予防 事業を特別給付へ変更する意 を捉え着実に確保。副区長

③事業着手を確実にする。④

の上昇抑制策は。⑤紙おむつ

歳入増や決算剰余金等の機会 ②施策の推進に合わせ見直し

◆区長の基本姿勢について

の所感は。②区政は特定の分 価されるべきと考える。今後 リーダーの役割がある。区長 の区政運営の方針は。③公共 野のみでなく「総合力」で評 施設整備の今後の取組は。 区長 ①先進国の人口減少は ティブな未来を描く、そこに ①人口減少を前提にポジ

持・更新が必要。着実に推進 を実現。(企画)③計画的に維 構想で示す目指すべき将来像 政策の在り方の検討を進める べき時。②グランドデザイン これを前提とした今後の社会 🛅 ①2月補正及び来年度当 ◆区財政について わば人類の歴史の到達点。 効果は。②現在の区の取組の 状況と今後の見通しは。 ◆政府クラウドについて 閰 ①行政運営における運用

練馬区議会自由民主党

X

|政に独立自尊の精神を!!

重層的な準備を。②避難所の 医師会や保護犬・猫団体と連 ビブス等の配布を。④公園に ③医療救護所では医療スタッ 乳幼児スペースの環境改善を 避難所等の検討を。⑥避難行 携しペットと過ごせる専用の ことのない整備体制を。⑤獣 避難所でトイレ不足が生じる フと一目で分かり、機能的な 輸送の障害等で機能不全にな トイレトレーラーを導入し、 ることを想定し複数協定等で 専用スペース確保等をマニュ アルで定めているほか、保健 う取り組む。③分かりやすく 引き続き安心して過ごせるよ 師等による健康相談等を行う。 実効性確保に努めている。② 法人と協定締結。協議を重ね 練馬区議会自由民主党

◆防災について ①災害時、物資の運搬は

会だ

延伸推進基金積み増しの目的 と財源確保策は。③大江戸線 政策推進のための基金の活用 ④延伸地域の目指すまち

初予算案編成の考え方は。② ②事業者の調整等、課題整理。 担や情報漏洩リスクの軽減等。

B ◆医療と福祉について

来年度専用通信回線設置予定。 ①旧練馬光が丘病院跡施 医療・介護サービスが可能。

①業務効率化、人的負

行に伴う苦痛の緩和ケアが可

身近な地域で切れ目ない

4月開設見込み。②病気の進

地域医療 ①計画どおり7年

かかりつけ医の負担が大き

なければならないと考える。 民間事業者及びNPO ◆教育環境の充実について 害防止に取り組む。⑦協議中。 い休日夜間診療支援事業を実

問 子どもたちの健全育成の

業の人数制限等に課題。ワー ため、小学校等の課外授業で、 小中学生を試行的に招待。 できるよう関係機関と協議を。 スタジオツアー東京の見学が 数育長昨年、施設近隣校の

安心安全の構築を だれも取り残すことのない

連携し、引き続き検討。福祉 ける良好な生活環境を確保し 等と連携して避難拠点等にお ⑥医療従事者やボランティア る。健康⑤区獣医師会等と が利用しやすい環境を確保す 備蓄を行うことが重要。誰も ④避難拠点に災害用トイレの 機能的なものへの更新を検討。 ナーブラザースと今後、協議。

環境整備を。避難所外避難者 築と災害関連死予防のための 制整備が課題。支援体制の構

協会との協定締結の進捗は。 のフォローを。⑦理学療法士

の両面から攻めの防災を進め

区長 ①区はハードとソフト

てきた。さらに強化、

しばた

さちこ

助制度の詳細を踏まえ、

||高齢施策||今後示される都補

◆都市農業施策について

災害関連死や二次的な健康被 医師会と協力し、国や都と連 ②三原台に整備する施設は区 その他の施設における拡大は。 定員5名拡大の方針を評価。 活が支援できるよう準備を。 携して利用者や家族の地域生 ◆障害者施策について 副区長(①福祉園等で医療的 🛅 ①重症心身障害者の通所

設を活用した複合施設の工事 対策は。④第9期介護保険料 整備する意義と介護医療院の ②複合施設に緩和ケア病床を の進捗状況と今後の見通しは。 ③在宅医療充実への 基金の活用。

の将来像についての考えは。

で必要な施策を実行。 区長①区民生活を支える上

◆教育について

方改革推進でさらなるICT ある。見解は。②教員の働き 新しい校務支援システム移行 働き方改革の取組の内容は。 年度実施予定の練馬区独自の 活用への所見と導入は。③来 況。教員数の確保はもちろん く減少している憂慮すべき状 軽減が必要。②有効な手段。 つ人材の確保には教員の負担 その質の確保も重要な課題で 数盲長 ①熱意と使命感を持 ③土曜授業回数縮減等。

間委託契約方式(PFS)の

分野に導入する成果連動型民

福沢

事業スキームと導入の効果は

い、事業者の創意工夫を引き ⑥成果に応じた委託料を支払 割が利用できるよう要件拡充

⑤高齢者の約9

施。高齢施策④多段階化と し、元気高齢者増を目指す

🛅 ①教師を志す人材が著し

エネ家電買替支援の活用を。

間素化と低負担となるよう配

者とその家族が住み慣れた地 引き続き、連携を図る。 域で暮らし続けられるよう、 の開始等に取り組む。②障害 ケアが必要な障害者の受入れ

区としても拡充を。 は都の補助拡充の動きを捉え、 題について、補聴器購入助 ◆高齢者施策について 高齢者の耳の聞こえの問

新たな食のイベントを開催 るアピールの場に。 バルと同時に野菜に関連した ねりま農産物の魅力のさらな 🛅 全国都市農業フェスティ 部市農業 さらに内容を充実

◆区長の基本姿勢について ルを精査した。早期発注等に 進を目指し着実に区政を運営。 極めて不透明。区民福祉の増 画通り進まない懸念。対策は。 共施設等総合管理計画等が計 物価上昇をカバーできない社 取り組み着実に進める。 今の建設業の人手不足等で公 会状況について所見は。②昨 問 ①実質賃金はマイナス。 企画 ②事業費やスケジュー 区長 ①区を取り巻く環境は

兼職を認め消防団加入促進を。 活発化を。⑤公務員の消防団 ④避難拠点は区の支援で活動 ③子どもの心のケア対策を。 の避難生活での支援体制は。 力をつける啓発を。②高齢者 ◆災害時対応と対策について 🛅 ①偽、誤情報を見極める

償化の恒常的実施を。④がん 患者ウィッグ等助成は手続の ―導入を。③学校給食完全無 は。②高性能な感震ブレーカ ◆区長の基本姿勢について ①予算編成の基本的考え

10万円を助成。⑤6年度は区 オンライン申請を導入。最大 補助を活用し実施。健康④ ②ブレーカー本体を遮断する 策を着実に推進し、区のさら 内公衆浴場の利用券を配布等。 タイプを貸与。 教育長 ③都 なる発展に取り組む。総務 プリでインセンティブ事業を。 慮を。⑤ねりまちてくてくサ ◆脱炭素社会の実現について 区長 ①ビジョンに掲げる施 閰 ①デコ活の啓発と都の省 等対策計画で対策を検討。② ③耐震助成額拡充の周知を。 適正管理と耐震化への取組を 環境 ①7年度改定の空き家 練馬区議会公明党

別配布等、積極的活用を促す。 ◆防犯対策について ①高齢者へ被害防止注意

作成予定の資料も活用。

全文は、定例会閉会後、おおむね2か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎10階)、区議会ホームページで閲覧できます。

促す。

機会を活用し周知啓発。福祉 相談を実施等。 を巡回、子どもに関する健康 健師等のチームが各避難拠点 環境を確保。 と連携し高齢者の良好な生活 ②医療従事者や介護事業者等 区長室①防災フェスタ等の 教育振興 ③保 総務 ④職員

も参加し活動。⑤平時の消防

実施。③地域 福祉の視点で を結びつける 介護福祉士養成施設を整備。 用。多段階化で上昇抑制。② イネーターを 区内での就職につなげる取組 ◆高齢者の環 間 ①高齢者 '連携が必要。空 一の空き家対策は、 生活支援コーデ 活動団体と区民 境について 配置し体制強化。

いのち、と人手不足の 対策がより重要に

護保険事業計画について 画は。③地域包括支援センタ の人手不足解消への今後の計 護保険料額に配慮を。②介護 団活動の特例を認めている。 情報の交換、課題の共有化を。 ◆第9期高齢者保健福祉・介 閰 ①基金の取崩し額は。介 練馬区議会立憲民主党 中心に医療・介護事業者と ②国のガイド ような取組を検討。副区長 空き家が問題家屋とならない 防止のため、 能低下等にともなう労働災害 いて所見は。 き家対策等は 働者に啓発を。 局齢施策① 白 計画の見直しにつ)関係部門と連携、 事業者、高齢労 ②加齢による機 けい子

強化。②高効率空調設備導入 **亅**ークレジット制度活用を。 ※4化を。③上田市と植林を通じ ②公共施設の脱炭素の取組強 環境①様々な施策の周知を 3 6 力者を募れ。 喚起ステッカ の創設を。④ 者宅を訪問、 た災害時防犯 ドライブレコ 総務 ①警察 ③区防犯士制度 ーダーによる協 ーの配布を。②

にワンストップ相談窓口の整

①地域包括支援センター

◆高齢者の活躍推進について

削減量や、適切な森林管理によるCO2等の吸収量を「クレジす環境に良い活動という意味が込められている。

等に取り組む。副区長 年度から検討に着手。 問 ①接道がない管理不全空 ◆空き家対策について 耐震強化と延焼防止で 取り組む。②

災害に強いまち練馬へ

家に除却助成金を。②所有者 に空き家家屋の耐震化を促せ。 防災訓練等を ◆出火防止対 策について こういち

都市整備 ③案内の個 用した実践的な訓練を実施。 発を強化。 ②様々な機会を通じ、周知啓 配線火災等、 実施を。②善 い出火原因事 ● ①一層の 総務 ①スタンドパイプを活 『衣着火時の対応、 例の周知を。 身近で陥りやす 初期消火訓練の

力依頼。③引き続き研究。④)様々な団体に協 通じ取組を周知。 防犯意識向上に 官や職員が高齢 対策の周知を。 警視庁と連携し S等を活用し、周知。③都が 備を。各種団体と高齢者を支 教室等を実施。 健康 ②SN 等を講師とした薬物乱用防止 乱用対策啓発用資材の活用を。 相談窓口周知を。③都の薬物 を。②薬物危険の情報発信と 存症専門医による講習の実施 間 ①生徒・保護者に薬物依 団体と連携、セミナー開催。 で周知。終活支援を行う地域 着し中心となって多様な分野 ②終活相談窓口周知とエンデ 援する協議会を設置し推進を。 ◆若者の薬物乱用について 教育長 ①区立中学校で医師 ィングノート作成支援を。 『齢施策 ①生活支援コーデ ネーターを配置。地域に密 活動につなげる。②区報等

学びの充実を図る。 用能力を育成し、個別最適な 全体の一CT教育の底上げを。 になって高めていく時代。区 |教育振興||児童生徒の情報活 知する等環境の整備に努める。 **🗓** 今後は子どもたちが中心 ーCT 教育について

きょうだい児の見守りを。 6 福祉・教育等と連携した ▼ヤングケアラー支援について

との情報共有や見守りを支援。 ◆ペット管理支援について 教育振興 学校内や関係機関 一般質問は、2月9日・13日・14日の3日間、12人の議員が行いました。ここでは質問と回答の要旨を掲載しています。

保健所引き続き関係部署で なったペットへの支援を。 『報を共有し、対応を検討。 家庭の事情等で飼育困難と 福祉事務所と連携し健康

ワークと連携して事業者へ周 「ラインをハロー がら、体験型学習の充実を。 生育方法を学ぶ体験等実施。 都市農業 食育体験や野菜の 高松みらいのはたけについて 近隣農業者の応援を得な

①基金39億円の活

京あおばの意見を聞き、

するよう、

参加都市やJA東

路の拡幅を。また、消防団活 として運用するため、外周道

する。区の取組は。③自らの

②区教育委員会では採用時、

のための働きかけは。③都の ングサポート等、将来の準備 況。区の認識は。②エンディ

補助事業を活用し、単身高齢

動拠点を備蓄倉庫と併設する

形での整備を都に働きかけを。

置の取組を展開し、地域防災 頭スタンドパイプの私有地設 困難区域の早期解消を。②街

力の向上を。③練馬城址公園

迅速に避難及び滞在場所

を開催し、避難拠点で活躍す ③女性防災リーダー育成講座 ◆介護保険計画について る。④現時点で考えはない。 る人材の育成に取り組んでい 備態勢を定め、受援体制も整 ずれも区内全域に対象拡大を。 管理を行う。②引き続き、協 仕組みづくりを。④感震ブレ 決定の場に女性が参加できる 定を結べ。③避難拠点運営の ②水防訓練参加団体と防災協 定団体と連携し、体制を強化 区民の命第一に方針の転換を。 危機管理 ①災害発生時対応 力—無償貸与、耐震改修助 スタンドパイプ設置はい 今後も適切な職員定数の あらかじめ職員の非常配

国に処遇改善を求め、区も支 ①介護人材確保のため、

◆区長の基本姿勢について

料は一般財源投入や基金の活 じた人員配置を。③特別養護 包括支援センターは必要に応 下げよ。⑤補聴器助成は、都 用、さらなる多段階化で引き 標にさらなる整備を。④保険 老人ホームは待機者ゼロを目 の新制度を活用し、対象を広

援せよ。②多忙を極める地域 ◆学校給食について ⑤都制度の詳細を踏まえ検討。 が限定的。実施の考えはない。 い。さらなる多段階化は効果

自治体の災害対応が困難に。

①行革による人員削減で

◆防災対策について

閰 ①都に給食費完全無償の

私立小中学校に通う子どもに ための財源を全額求めよ。 弁当持参の子どもと、国立・

給食費相当額の補助をせよ。

日本共産党練馬区議団 新予算で、防災・介護・ 教育・環境等の充実を 有馬

く改善。今後は大泉ケアハウ 実に進め、待機の状況は大き を支援。②国基準に加え訪問 ④区負担割合を超えての繰り スの廃止等により増床を図る。 支援員を配置等。③整備を着 要請。区は処遇改善加算取得 **高齢施策** ①これまでも国に 補助額を引き上げよ。

小中学校は希望による就学で 徒は補助を予定。私立・国立 アレルギー等が理由の児童生 活用する仕組みづくりを。 導入の支援や、区内農産物を 材を使え。⑤農家への設備等 する予算の確保を。④有機食 教育振興 ①考えはない。②

③物価が高騰しても質を維持

入れは制度上認められていな

都制度の対象外。考えはない。

能な場所があれば所有者の協 ③道路拡幅を

◆水害に強いまちづくり 🗓 ①豪雨対策基本方針の目

備に向け、東京消防庁と連携 き協議。消防団施設は早期整 都に強く要請。倉庫は引き続 力を得て設置。 し、取り組んでいる。

標降雨75ミリ対応へのこれま

採用時に刑罰処分履歴の確認 入についての所見は。②職員 止するための日本版DBS導 の周知等に取り組む。 ◆日本版DBSについて ■ ①子どもへの性被害を防 危機管理③引き続き、

等について、現状どのように 取り組んでいるか。

区民の生命を守る。

◆震災対策について

①木密地域及び消防活動

協議する場の設置を提案した。

交換において今回の震災を受

都と課題を整理し対応を

支援と受援体制を検討すべき。

区長)1月の都知事との意見

び対口支援の在り方を含め、

応急対策職員派遣制度及

ミリに引き上げ、対応を強化 での取組は。②都は方針を85 都民ファーストの会・国民民主党練馬区議会未来会議・ 震災に強いまちづくりを が慎重に検討。動向を注視。 教育長 ①必要性は認識。 井上 勇一郎

> ◆高齢者施策について る。福祉③国等の動向注視

①単身高齢者が増加の状

進を要望。②練馬区総合治水 避難行動計画マイ・タイムラ し、河川及び下水道の整備促 □木 ①事業者である都に対 インの作成促進を。 原則本人に確認等。 ◆障害者施策について

流出抑制施設の設置を進める。 計画を見直し、 引き続き雨水

富士見台地区で整備を進める。

·欠。桜台東部地区、貫井·

危機管理②私有地は設置可

ができる道路の拡幅は必要不

部市整備 ①消火・救援活動

と課題、今後取り組むべき施 □ ①区の障害者施策の現状

:日本版DBS…子どもを性被害から守るため、子どもと接する仕事に就く人の性犯罪歴の有無を確認する制度:対口支援…被災自治体ごとに支援自治体が割り当てられ、支援自治体が基本的に自ら完結して応援職員を派遣:応急対策職員派遣制度…国による一元管理の下、被災自治体へ応援職員の派遣を行う仕組み の課題は。③国の障害児福祉 施策を進めるための財源確保 策への考えは。②持続可能な

> 施。さらに推進するため、J ③見込んでいる。④学校給食 の需要に対応困難。⑤既に実 Aあおばとの連携会議で協議

ルギー収支10%削減を。②学 の際は、創エネを行い、エネ 校体育館へ太陽光パネルの設 めのリフォームに補助を。 置を。③窓以外にも断熱のた 🛅 ①区立施設の新築・改築

◆まちづくりについて

谷区の姿勢に学べ。

るまちづくりを実施。 らも、区民と共に考え、 都市整備) これまでもこれ

難。③引き続き窓改修を補助 るため実現が困難。②設置困 パネルの設置場所が限定され

反対意見に向き合う世田

進

◆災害対策について

環境・①都市部では、太陽光

か

閰 ①中学や高校、大学等で

⑤女性視点の災害対策推進の 早期創設と相談体制構築を。 ルトイレ整備費用助成制度の 高層マンションへのマンホー

対策の検討を。情報リテラシ を区公式SNSで否定する等、 成を。②避難所外避難者の状 ー確保と地域防災の担い手育 況やニーズをどう把握し支援 防災訓練車を活用した放水訓 するか。③災害時のデマ情報 練を実施し災害時のマンパワ ・向上に向けた啓発を。 ④中

◆地球温暖化対策について ため、女性の参画を増やし意

期消火訓練を実施。中学生等 訓練車を活用し、実践的な初 見を言いやすい環境をつくり、 意見を取り入れる仕組みを。 □機管理
①来年度から防災

にも防災活動を担ってもらい

防災会等と協力し把握。他自 開始に向けて検討中。⑤女性 7年度から補助を開始。 事業 の正しい情報を入手し冷静な ③個別否定は困難。行政から 地域防災力向上に努める。② 行動を取るよう呼びかけ。④ 治体の応援職員も従事し支援。

講師を配置し ツ団体や区内 自に専科指導 会議への参画 を。④学校プ 一体となった への委託等、 教育長 ①地 の大学等に検討

課題を整理し、検証。

環境:環境部長

練馬区議会自由民主党 佐藤

毎年発行し、配布等。 受講生の声をまとめた冊子を

極的に選ばれる学校づくりを の割合をKPーに設定し、積 学する中学校を選択した生徒

問 ①教育活動や方針から進

特色ある学校

活用に向けた

要請。成果等を ③ 都実証事業の 地域移行に向け た検討会議を実 伸ばそう練馬の力を! 未来に誇れる練馬に! 観点も大切に

教科担任制推進 域との協働等の ール授業は民間 ができる非常勤 引き続き、

防災リーダー育成講座を開催。

づくりを進め、

力

◆教育について

地域移行はSSC等のスポーさらに推進せよ。②部活動の

準備を推進。 学校選択制度 推進校拡大を 係団体を含め を実施。結果 踏まえ検討。 施し、円滑な ②生徒や保護

.取組を。 ③区独 を促進し、地域 在り方の検討を、 施。 の練馬城址公園への設置に向 ◆魅力ある公園づくりについて **間** ①カルーセルエルドラド

の条件の下、少人数で手持ち 企画 ①これまでも働きかけ 花火が楽しめる区立公園を。 都に働きかけを。②一定

年度、各公園の改修のための 民の意見を聞く機会を設け、 園は多様な利用方法を検討。 検討に着手。規模の大きな公 めるよう求める。土木②来 多様な意見を踏まえ整備を進 てきた。都に対して、区や区

街の活性化等に加え、税収増 の方にも延伸の効果と基金積 の向上にも寄与。延伸地域外 加も見込まれ、区民サービス み増しへの理解促進を。 ◆大江戸線延伸について 問 都心へのアクセス向上や

危機管理:危機管理室長 総務:総務部長 区民:区民部長 産業経済:産業経済部長 都市農業:都市農業担当部長

の分析を基に関

者にニーズ調査 の充実を図る。

知。 都市整備 練馬まつり等で周 引き続き、取り組む。

こども:こども家庭部長

モデル事業を実 ④民間プールの

、ま子育て応援ハ 都や警察と協議 利用の周知徹底 ②都や警察等と 周知。母子手帳 会やボランティアと連携し図 応検討。 危機管理 ③獣医師 上・同行訓練を実施している。

のためオンライン化等を進め クールロイヤーの適正配置を。 査集計のデジタル化を。②ス (6) ①副校長の職務である調 ◆教員の働き方改革について 教育長 ①副校長の業務改善

土木:土木部長 教育振興:教育振興部長

◆発達性ディスレクシアの支 ている。②配置拡大は検討。

援について

ネーターの導入 頭飼育崩壊を避 が救出される仕 ト同行避難や、 構築を。③全避 談窓口開設とペ たかし の使用等で配慮。③こども発 で早期発見。②デジタル教材 る権利の実現を。③生涯、切 の希望に配慮し、教育を受け 子どもの早期発見を。②本人 れ目のない相談支援体制を。 教育長 ①支援事例の共有等 ①読み書き障がいのある

区長室:区長室長 企画:企画部長

都市整備:都市整備部長

地域で生活できるよう支援。 が連携し実施。生涯にわたり 達支援センター等の関係機関 回答者の略称

して応援職員を派遣すること。

護センターで意思決定を支援 体制の強化が必要。②権利擁 者に対する支援充実を。 する事業を周知等。 福祉 ①地域で見守り支える

収したペットボトルをリサイ

を契機と捉え、区も取組を。 に関わる所得制限撤廃の動き ◆災害対策について

リーグループが買い取り再生。

土木 ①ねり

ンドブックで

安全対策につ

いて都に要望を。

係部署が情報共有等をし、対

地域文化:地域文化部長 福祉:福祉部長 高齢施策:高齢施策担当部長 健康:健康部長 保健所:練馬区保健所長 地域医療:地域医療担当部長

閰 ①仮称大泉学園町駅は乗 ◆大江戸線延伸について

連携し、安全 掲載は検討。 クル事業者が原料化、サント

活動の場の整備、重度障害者 む。②補助充実を国等に求め の就労支援等を新たに盛り込 障害者計画に医療的ケ 別避難計画作成と合わせ実施 スケジュールの周知を。 域輸送道路は決定後、早急に 閰 ①家具転倒防止対策を個 し震災時の対策強化を。②地

域にデマンド交通の導入を。

副区長 ①豊かなみどりと利

間 ①飼い主の急病時等に自

交通空白地域解消へ

大江戸線の早期延伸を!

まちづくりを。②交通空白地 仮称大泉町駅は集客のできる 降者数増のため企業誘致等を

し、検討。

に努める。

◆ペットの適

正飼育について

アが必要な方の住まいや日

副区長 ①重度化・高齢化

促進支援策を検討。沿道の方 転倒防止器具設置支援も実施。 都市整備 ②選定後、耐震化 危機管理 ①6年度から家具

形成について **◆サーキュラーエコノミーの** に丁寧に説明。

便性を兼ね備えたまちを目指

練馬区議会公明党

鈴

証実験を実施し実効性を検証

都市整備②来年度、実

◆自転車走行対策について

ツトコーディ けるため、相 組みを。②多 宅からペット

トルtoボトル」の取組の実 施スキームは。 閰 ①ITの活用を。②「ボ 環境 ①集積所管理システム

ス向上を図ってきた。引き続 きITの活用を進める。②回 等で業務効率化と区民サービ

から終活相談窓口を設置等。

と左側通行ステッカーで安全 車安全学習アプリ「輪トレ」 手帳等で周知を。②都の自転 走行は危険で違反行為。母子 ①乳幼児をだっこしての 難拠点でペッ 等で支援体制

利用啓発を。③専用レーンの 災害図上訓練DIG実施を。 緊急連絡カー 保健所①都

ドを作成。区は はペットを守る

カード利用の

『発達性ディスレクシア…知能や聞いて理解する力、発話で自分の考えを伝えることには問題がないものの書き込んだりして、ゲーム感覚で災害時の対応を考えるトレーニングのこと。Disaster(災害)、Imasiサーキュラーエコノミー…循環経済。資源を極力廃棄せず、循環利用しながら付加価値を生み出す経済活動

の読み書きの能力だけに困難を示す障害のこと。 -cat--oc(想像力)、GaEe(ゲーム)の頭文字を取って名付けられた。 | ジェ図上訓練DーG…参加者全員で地図を囲み、議論しながら地図

意義周知。②関

◆防災、備蓄の充実について

①教室と区施設の断熱改

で意見・質問に答えている。

※コモンズ…所有権が特定の個人でなく共同体や社会全体に属する資源

努める。備蓄倉庫の増設検討 防災倉庫のさらなる整備を。 場を。②「同意」の教育を。 ◆性教育とジェンダー平等 区画された室内空間の確保に 🗓 ①大人にも性教育を学ぶ 厄機管理 間仕切り等により

どもが「同意」を学べるよう センターで大人向け講座や子 ◆新しい教育、新しい学校 な親子向け講座等を開催。 **教育振興** ①②男女共同参画

をしている。②単学級では人 取り組む学習等対話的な学び し、協働・探求学習を。②学 がより身につくという根拠は。 級数が適正規模だと思考力等 教育振興 ①課題に協働的に ①多様な学び方を可能に

に教育長が答えよ。②教育長

地域の保育不足の証拠では。 策の1歳児1年保育を実施。 問「稲荷山公園計画で家を壊

児37、2歳児65。待機児童対

約では。④新園の倍率は1歳

①子どもから募集した質

インクルーシブな練馬をめざす会

高口

ようこ

答えてください、教育長!

子どもの声に

したくない」「授業を楽しく」

は野党には答弁しない。子ど

別反対」に教育長が答えよ。 もの声「理由を知りたい」「差

|振興||①②議員の質問に

用のご案内に明記。保護者に

転園の意思を確認。③利用

開始。園児が安心して転園で

◆気候危機対策と有機給食 方等に触れる機会の減少懸念。 間関係が固定され多様な考え

会だより

◆命を守る防災対策について ついて避難行動要支援者から ①個別避難計画の作成に

が納得できるよう、一般公開

なり、

介護サービス事業所を

会参加を促進。②都が主体と

スについて対象から外れる方

子どもへは出前教育委員会等 対し内容等に応じた者が答弁

期間は新設園転園まで。

4

やイベントで呼びかける。 奨を検討していく。②SNS 支援者には、ケアマネージャ てもらうのか。対策は。 ―等と連携した個別の作成勧 副区長 ①作成に至らない要 ついて きながら検討。 ◆健康・介護・高齢者施策に

納得感のある、

い練馬区政へ

される。若者にいかに参加し

引き続き、区議会の意見を聞

都事業の周知を図る。

もらうことが有効。引き続き、 際に体験し、効果を実感して 支援。ICT機器の導入は実

企画設置の考えはないが、

限を議論する審議会の設置を。

し、議事録を残す形で所得制

避難支援者確保の難航が予想 同意を得るための対策は。②

ついて ◆学校給食費の全面無償化に

練馬区議会日本維新の会

吹田

①高齢男性の地域活動参

制度を活用した無償化を実施 ともに、それまでの間、都の 度を所管する国が運用するべ ◆所得制限撤廃に向けた議論 |数|||長|||学校給食は法律と制 毎年継続して行うのか。 都が補助を出し続ける間 引き続き要望すると を開催している。引き続き、 必要。介護ロボットの必要性 ジャンの普及支援を。②介護 加を促す手段として健康マー を実感できる体験の機会を。 人材不足は深刻。ICT化が 同齢施策 ①初心者向け教室

所得制限がかかるサービ

多様なニーズを踏まえた事業

展開を図り、男性高齢者の社

よる住民税流出は51億円。

問 6年度のふるさと納税に

聞きながら推進。 に地域の方に周知し、

◆ふるさと納税について

教室や体育館等に計画的に設 う努めている。 教育振興 ② ◆子どもの声に応えること のエネルギー効率を高めるよ 環境 ①改修の際は建物全体 。③給食需要に対応困難

設置を。③有機米から導入を。 歳の誕生日前々日まで」が契

修を。②学校全室にエアコン が承諾することで契約成立」 区は「利用承諾書を交付」「区 ②強制転園の根拠条例は。③ 問 ①追い詰められた状況の ◆谷原保育園問題について と答弁。承諾書の利用期間「3 1歳児保護者の声に答えよ。

きるよう取り組む。②保育利 こども ①1月から保育参加 え、 ズ」という考えへの見解は。 計画において「公園はコモン 解が不可欠。 企画③整備には地域

ネットとして取り組んでいる。 ◆介護問題と共生社会について

等で周知啓発。②処遇加算取 得セミナー等を開催し、支援。 ②訪問介護報酬減への支援は ◆生物多様性と道路問題 施策①区報やパネル展

みどりの創出機会とし取り組 め推進。②道路整備を新たな 強い。考えは。③稲荷山公園 ネットワーク分断の可能性が 定を。②大きな道路は生態系 環境①都の行動方針を踏ま みどりの総合計画等に定 ①生物多様性地域戦略策 歳児1年保育はセーフティー

防団運営委員会で審議し、答 都知事からの諮問を受け、消 等87件の意見。②処遇改善は

戸線延伸の際には駅構内に地 退職自衛官の採用を。⑥大江

> 境整備等は東京消防庁が担う。 区報特集号を発行等。③④環 申する。東京消防庁と連携し

消防署を通じ、訓練等の参加

を依頼。⑤引き続き、検討。

誠心誠意、問う。

丁寧に進める。

◆危機管理について

境の整備を。⑤危機管理室に

より多くの区民の参加が必要

の意見は。②消防団員確保に 見募集に寄せられた区民から 力が発揮できるよう、訓練環 けを。④災害時に消防団の能 報に尽力を。③消防団と地域 向け、処遇改善とさらなる広 住民の良好な関係構築の手助 閰 ①地域防災計画素案の意

媒体とし、除外申請を受け入 ける対象者情報の提供は電子 の検討を。⑦自衛官募集にお 改修予定の区立施設にも整備 下シェルター整備を。新設・ 危機管理・①初期消火訓練に れられる体制に整備を。⑧練 集を含む宣伝に協力を。 馬まつり等の行事で自衛官募

⑦提供方法を検討。⑧関連法

⑥国等の動向を注視。区民

練馬区議会自由民主党

令に基づき必要な協力を行う。

助率の拡大、公営住宅への太

得に応じた断熱窓改修等の補

いかに施策を進めるか。②所 どのような状況にあり、今後

問 ①現在、区の環境問題は

◆環境問題について

陽光パネルや蓄電池、EV充

◆中村橋のまちづくりについて 会の先頭に立って、都と力を 予見されるが、返礼品競争に 返礼品導入を検討するかあら こまで流出すれば地元由来の 抜本的な見直しを国に求める 合わせ、制度の廃止を含めた くみすることなく、特別区長 かじめ基準を決めておくべき。 区長 流出額の拡大は続くと

間 近隣住民の理解が得られ

◆魅力ある公園づくりについて

れば犬が入れる公園を増やす

るものではないが、節目ごと **土木** 一律の基準を定められ 解の範囲と基準が必要。具体 ことができる。そのために理 ひでとし 庭の確保は可能か。 に教室・体育館・プール・校 げられているが、現在の敷地 まれる。改築検討候補校に挙 校で、さらなる児童増も見込 教育長将来の児童・生徒数 🛅 中村小学校は超過大規模

的に定めよ。

実施した結果、可能と判明。 踏まえ、シミュレーションを の推計に基づく校舎規模等を 対応方針を決定する。

☆ ①②来年度改修を計画

各

団体の目的や活

◆健康施策について 詳細な健康調査と幸福度の調 **査を同時に行えるか。②開業** 閰 ①生活実態を得るための 起業支援を加速すべき。

◆教育について 健康 ①昨年11月の健康実態

れいわ新選組練馬

幸福度向上を。

もたちが活躍する場を。 や実験室等の充実を。③発表 の一途。改善のため、小中学 会等、多種多様な場面で子ど 級を目指せ。②副教科の設備 校ともに20人ほどの少人数学 **間** ①中学生の不登校が拡大 教育振興 ①国の動向を注視。

公社と連携し、拡充に努める。 ②引き続き、練馬区産業振興 を行う考えはない。産業経済 調査で区民の健康実態の詳細 く活用が難しい幸福度の調査 は把握。主観的で抽象度が高

改築等に際し、習熟度別学習 の学級とする考えはない。② 区独自に国基準よりも少人数 学習等に活用できる多目的室 に必要な少人数教室やICT を検討。③ト 8年度に計画を策定。規模の 大きな公園は多様な利用方法 的に進めるた イレ新設の際は めの検討に着手。

間 ワクチン ◆予防医療の推進について 都立公園も含め設置。 ンや薬に頼らない

会等、成果発表の機会を設け を整備。③音楽会や英語学芸 ◆住民サービスの充足について ることが重要 で過ごせるよう免疫力を上げ (。身体と医療に

ゆとりのある区民サービス 山 Ç あきこ

フリートイレの設置を。 介助ベッド等を備えたバリア の増設を。③公園に着替え台 園にもゴムチップ舗装の散歩 たボールの使用が可能な公園 コースを。②ネットに囲われ 園にベンチの増設を。区の公 せて都にも要望を。 問 ①膝の悪い方のため、公 講座等を実施。 進に努める。 よる情報発信、 ついての正しい知識の啓発を。 分だけでない しで活動でき ●貧困への取 🗓 こども食 健康引き続き、SNS等に 堂が持ち出しな 補助金の創設を。 るよう物価高騰 組強化について 専門職による 区民の健康増

補助金は今年 の行動が大きな意味を持つ。 え拡充。補助 き区民・事業者と協働して脱 環境基本計画2023に基づ 新たな交通手 策を。④AI 所見は。③太 や国と連携して進めるべき。 素ステーションの活用等、都 ンニュートラ 炭素を推進。 総合的な環境 から排出され、区民一人一人 区長 ①住宅 の周知、事後 法投棄禁止の 電設備の設置、 一酸化炭素の5割以上が家庭 つじ 元施策展開のため、 ,段の導入を。 (陽光パネルの不 内容等は国や都 ル化設備設置等 |調査実施等の対 啓発、廃棄方法 度の実績を踏ま 環境 ②カーボ 都市練馬区では デマンド交通等、 断熱改修、 誠心 館にリニューアルを。③体育 を。②誰もが誇れる総合体育 実験を実施し、実効性を検証。 動向等を注視し、関係者と協 取り組む。 区ゆかりの選手とも連携して 整備を検討。④障害者団体や 検討。③改築・改修に合わせ、 ポーツ施設の拠点となるよう を聞きながら工夫。②区のス デフリンピックの機運醸成を。 アリーナを。 ④東京2025 館新設・改修の際はバスケッ や有識者の意見を踏まえ整備 のスケートボード広場は区民 る。 副区長 ④来年度、実証 業者等に周知。適切に対応す 議。 水素ステーションは国や都の トボール用車いすに対応した 間 ①石神井松の風文化公園 ◆スポーツ振興について 地域文化①関係者等の意見 動向を踏まえ、適時見直す。 ③適正処分等について事

ついて 動に合わせた支援に努める。 ◆人材確保・育成予算拡充に

めの奨学金の創設を。 問 大学や専門学校に通うた

福祉 区議会に提出されてい

る陳情の審議状況を注視。 ◆緊急時災害対応について

では。④国に対して防災庁設 を聞く機会や区の職員が現地 ②地域の方との防災訓練を行 を見て、話を聞くことが必要 う予定は。③災害NPOの話 蓄や区の防災計画の見直しは。 📙 ①今回の震災を受け、備

師等を既に派遣。業務報告等 を受け区の災害対応力の向上 等を備蓄。地域防災計画に反 につなげる。④国の動向注視。 連絡会と訓練を実施。③保健 等で構成される避難拠点運営 映していく。②町会・自治会 置の申し入れを。 危機管理①新たに衛生用品